

香 建 第 3 1 1 号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 様

香美町長 藤 原 久 嗣



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありましたみだしのことについて、
別紙様式のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

兵庫県 香美町

道路は、基本的な社会基盤であり、地域の活性化を促すとともに、日常生活を支える最も重要な施設であることから、新たな道路整備計画の作成にあたっては、国民の幅広いニーズを汲み取り、その期待に応えるべく道路整備を計画的かつ着実に推進していただきたい。

具体的には、次のような配慮をお願いしたい。

- (1) 日本全体の道路整備状況を判断するにあたっては、マクロ的に見るのではなく各地域ごとに道路の必要性和整備状況を点検すること。
- (2) 道路整備の必要性判断にあたっては、経済的効果を中心とするのではなく、過疎地域にあっては地域開発効果に重点を置くこと。
- (3) 過疎地域における道路整備は、若者の都市流出に歯止めをかけるため早急な対応に努めること。

また、道路特定財源については、先の閣議決定で平成21年度から一般財源化することとされているが、地方道路整備臨時交付金制度の維持またはそれに準じた交付金制度の創設などにより、当面、地方の整備が終わるまでの間は、重点的に必要な道路財源を確保していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

兵庫県 香美町

○現状

1. 急勾配・急カーブ・狭小路・狭小交差点等により走りにくい道路、車両の進入やすれ違いができない道路がある。

(国道9号笠波峠及び日影交差点、主要地方道香住村岡線)

2. 冬期積雪期に安全走行ができないばかりか、通行止めとなることもある。

(国道9号笠波峠及び国道178号香住～余部間)

3. 県境・市町境における未整備路線がある。

(国道482号小代区内～鳥取県境)

○課題

1. 急勾配・急カーブの解消及び交差点改良による安全交通の確保

2. バイパス道路の整備

(国道178号余部道路、浜坂道路及び佐津IC以東)

3. 防雪工の完備

4. 除雪体制の確保

5. 雪崩防止施設の整備

6. 県境をまたぐ広域整備、交通確保

7. 広域観光ルートとしての線的整備

②-2 地域の目指すべき将来像

兵庫県 香美町

1. 過疎化、少子高齢化が進む但馬地域にあっては、企業誘致による若者定住の促進と、豊かな自然(山・川・海・温泉)と新鮮な食材を生かした観光振興を推進し、早急に地域の活性化を図っていく必要がある。

- そのためには、京阪神各地からの幹線アクセスと但馬内交通路線網との有機的なネットワークを重点的に整備していく必要がある。
- 現状のような少ない予算での点的整備では、過疎化の進行に歯止めをかけることは困難である。

2. 医師確保が困難な中であって、住民の救急医療体制を確保していくため、但馬内拠点病院とのアクセス整備を急ぐ必要がある。
香美町民にあっては、豊岡方面への地域高規格道路の早急な整備が必要である。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

兵庫県 香美町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1. 地域活力の向上 2. 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	広域交通ネットワーク整備 (1) 北近畿豊岡自動車道の整備 (2) 鳥取豊岡宮津自動車道の整備 (3) 国道9号線の改修を促進 地域内交通ネットワーク整備 (1) 国道と県道の連携 ①合併支援道路整備事業の推進(主)香住村岡線 (2) 県域をまたぐ広域整備 (国)482号線 (3) 既存道路の整備 ①交通事故対策工、歩道の整備(国)9号、(一)日影養父線 ②防災、防雪工の整備(国)9号 笠波峠(除雪拡幅) ③舗装面の維持、修繕	○期待する効果や評価等 ■京阪神からの所要時間の短縮 (1)観光産業の振興による地域活性化⇒観光集客力の増加 (2)物流の迅速化による産業の活性化⇒鮮度保持・品質向上効果⇒販路拡大・付加価値の増大 ■生活圏の広域化への対応 ⇒就業機会の確保 ⇒過疎化対策 ■代替交通路の確保 ⇒災害に強い地域づくり ⇒地域間移動・支援活動のサポート ■救急医療機関までの搬送時間短縮 ■経済圏の拡大 ⇒観光開発の促進 ■安心、安全の確保 ■定時制の確保	